


2007  
安全報告書



水間鉄道株式会社



お客様をはじめ地域の皆様へ

1. 安全の基本的な方針と安全目標

- (1) 安全の基本的な方針
- (2) 安全目標

2. 鉄道事故等と再発防止策

- (1) 鉄道運転事故
- (2) インシデント
- (3) 輸送障害
- (4) 行政指導等

3. 重点安全施策の内容と進捗状況

- (1) 安全意識の高揚・安全対策
- (2) 安全性向上対策
- (3) 従業員教育
- (4) 安全投資

4. 安全管理体制

- (1) 安全管理体制及び安全管理推進委員会
- (2) 安全管理体制に係る主な活動
- (3) 安全管理体制の見直し
- (4) 緊急事態・防災体制

5. 安全への取り組み

- (1) 消防局との合同訓練
- (2) 警察・消防署・救急病院との連携

6. お客様・沿線の皆様へのご協力をお願い

- (1) 踏切事故防止キャンペーン
- (2) 痴漢防止キャンペーン
- (3) その他

7. お問い合わせ・ご連絡先

## お客様をはじめ地域の皆様へ

いつも水間鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

また、平素は鉄道事業に対しましてご理解を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、この安全報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自らを振り返るとともに広くご理解いただくために作成し公表するものです。皆様からのお声を輸送の安全に役立てるよう頑張っております。是非、積極的なご意見を頂きますようお願いいたします。

2007年9月

水間鉄道株式会社  
代表取締役社長 矢部義和

## 1. 安全の基本的な方針と安全目標

### (1) 安全の基本的な方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全綱領」を次のように掲げ、社長以下、社員全員に周知・徹底しております。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。
4. 全ての従業員は、連絡打ち合わせの徹底と確認の励行を確実に実践しなければならない。
5. 全ての従業員は、協力一致して事故の防止に最善を尽さなければならない。

### (2) 安全目標

本年度から5年間(2007年度～2011年度)の鉄道輸送安全目標は、下表のとおりです。本年度は、8月末日現在、残念ながら人身障害事故1件が発生しています。この事故を受け改善策を検討し対策を講じたところです。引き続き社員一同、目標達成に向け取り組む所存です。

	項目	目標
鉄道輸送 安全目標	重大事故(衝突、脱線、火災)	5年間 0件
	旅客負傷、踏切障害事故	5年間 50%減少
	当社に原因のある輸送障害	5年間 20%減少

## 2. 鉄道事故等と再発防止策

### (1) 鉄道運転事故

平成18年度については、鉄道事故は発生しておりません。

本年度以降も継続して、鉄道事故の未然防止を目的とした広報活動や道路管理者・地元警察署と連携した通行マナー向上のための啓発活動等に努めてまいります。

### (2) インシデント

平成18年度に運転小事故が数件発生しインシデントとして報告いたしました。再発防止対策として乗務員の管理体制の強化を図るとともに、乗務員の点呼時における「運転管理者の点呼執行マニュアル」の見直しを実施しました。

### (3) 輸送障害

平成18年度の輸送障害が2件発生しました。車両故障や設備の不具合など当社の責任によるものであり、これらについては原因を分析し、運転設備の見直しを図るとともに再発防止対策を講じました。ご利用者のお客さまに、ご迷惑をおかけすることのないように努めてまいります。

### (4) 行政指導等

近畿運輸局の視察、巡視を受けましたが、運転施設等の安全に係るご指摘はございませんでした。

## 3. 重点安全施策の内容と進捗状況

### (1) 安全意識の高揚・安全対策

安全意識を高揚させるため、当社では「事故や輸送障害、災害、インシデントには至らないがこれらに発展する可能性のある軽微な事故、障害、故障、ヒヤリハットおよびリスク等」を『事故の芽』と定義して、報告の徹底を図っています。

再発防止にむけ、ヒューマンエラーやミスの隘路等、その原因を究明し、対策を検討してまいります。

### (2) 安全性向上対策

平成18年7月より順次工事を開始し、ATS（自動列車停止装置）を設備して、安全性のさらなる向上を図りました。

当社のATSシステムは、信号の見誤まりや急曲線に対する速度超過、終端駅での過走防止に対応し、重大事故を未然に防ぐよう設計しております。

### (3) 人材育成と技術の伝承

列車乗務員や駅係員の技能や知識の向上を目的として、年6回の安全講習会を実施しています。

運転士に対しては、運転法規の熟知はもとより車両の構造といった基礎的な知識に加え、安全に対する意識、職責を徹底的に指導しています。併せて保安装置の故障や車両故障等、異常時を想定した机上教育を行い、不測の事態に備えています。

#### (4)安全投資

列車の運転保安度向上を図るため、A T S (自動列車停止装置)を平成19年上期中に、4編成全てにその装備を完了しました。

また、鉄道施設の軌条強化工事の一貫として、短レールを4箇所溶接しロング化を進めるとともに、さらに枕木交換作業により安全性の向上に努めました。



<ATS 地上子>



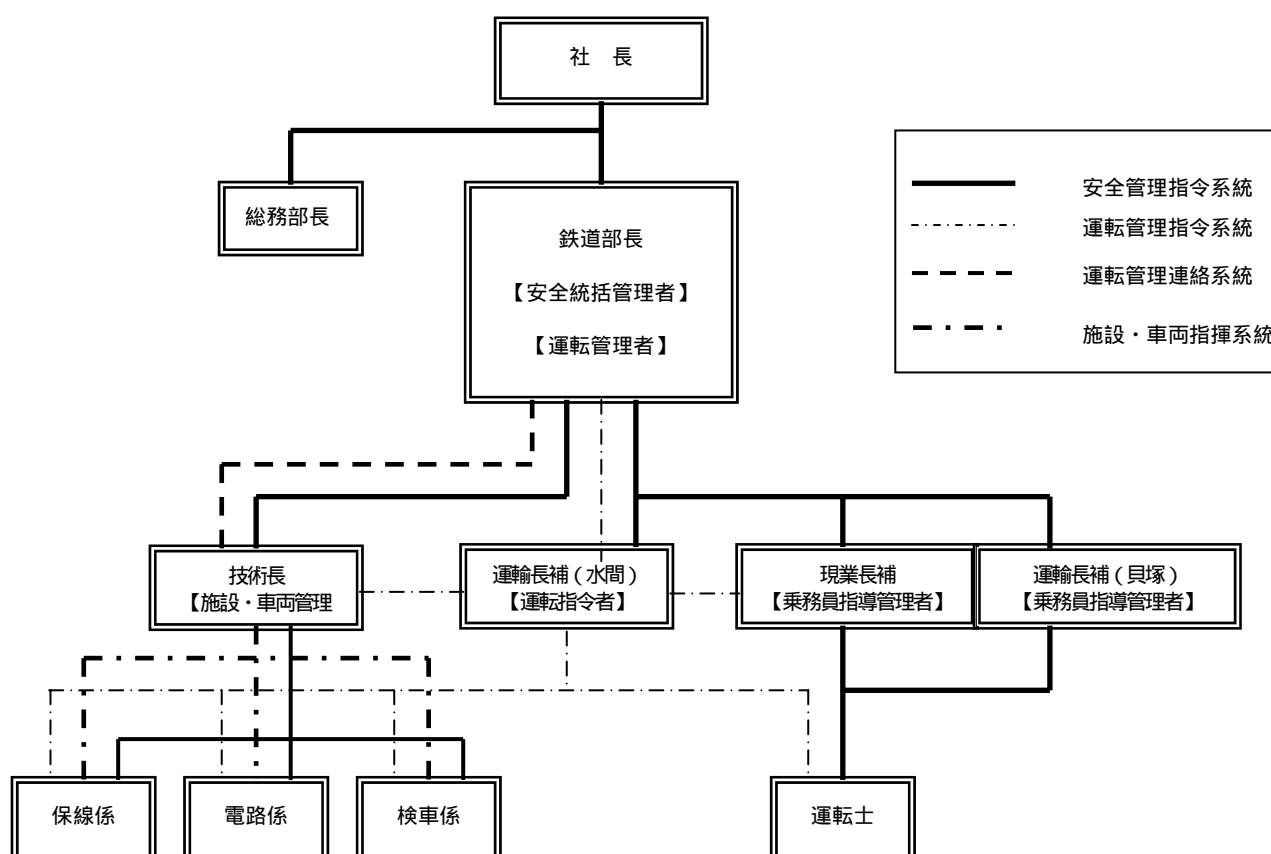
<ATS 車上子>

## 4. 安全管理体制

### (1)安全管理体制及び安全管理推進委員会

2006年3月の鉄道事業法の改正により、同年10月に「安全管理規定」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を整備、組織内の責務を明確にし、安全性向上のためのP D C Aサイクルが確実に実行するよう取り組んでいます。

社長、安全統括管理者ならびに各管理者の役割および体制は以下の通りです。



## (2) 安全管理体制に係る主な活動

社長をはじめとする常勤役員により、現場査察を定期的を実施し、経営トップ自ら安全管理の遂行状況を確認します。

## (3) 安全管理体制の見直し

安全マネジメントのPDCAサイクルが機能しているかを定期的を確認し、適宜見直しを行なうとともに継続的な改善を実施してまいります。

## (4) 緊急事態・防災体制

大規模な運転事故や自然災害に備え、緊急時対策規定を策定し緊急時の体制を構築していきます。状況に応じて緊急対策本部を設置し、復旧対策にあたります。

# 5. 安全への取り組み

## (1) 消防局との合同訓練

平成20年春に車両火災を想定した異常時訓練を予定しています。消防と協力し、従業員が参加して異常時対応能力を高め、不測の事態に備えてまいります。

## (2) 警察・消防署・救急病院との連携

緊急時における連携を円滑に行なえるよう、連絡体制を確立します。

# 6. お客様・沿線の皆様へのご協力のお願い

## (1) 踏切事故防止キャンペーン

踏切事故の防止を目的として、ドライバー・地域の皆様に対して踏切通行時のマナーを再認識いただくため、「踏切事故防止キャンペーン」を実施していきます。

## (2) 痴漢防止キャンペーン

施設内・列車内における痴漢行為などの迷惑行為を撲滅する為、ポスターの掲出や車内放送等を通じて啓発に取り組んでまいります。

### (3) その他

有人の2駅に関しては「こども110番の駅」として、日頃から地域の子供たちの安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するよう取り組んでいます。

## 7. お問い合わせ・ご連絡先

当社の安全への取り組みに関する皆様のご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

(連絡先)

水間鉄道株式会社

鉄道部 TEL:072-447-0047 FAX:072-447-0057

総務部 TEL:072-422-4567 FAX:072-431-0249